

着工式を迎えて



毎月行われる着工式。

12月も先週、2組のお施主様を迎えて、執り行われました。

古いしきたりでは、上棟の際に上棟式が行われるのが常でしたが、これには何かとお金がかかる。

お施主様のご負担を少しでも軽くしつつ、家づくりに関わる職人たちとお施主様との絆を結ぶ。

それが、近代ホームの「着工式」です。

着工を前に、お施主様は皆様、期待と不安でいっぱい。

そんなお施主様と実際に顔を合わせ、「この方のために」という気持ちを込めて誠実に家づくりを行うことを誓います。

着工式に参加したお客様の声をご紹介します。

「安心しました」

昨年の今頃は自分が家を建てるとは全く思っていませんでした。

都心にマンションでも買おうかと話し始めた時、港北のショールームが近いので寄らせていただき、モデルハウスを見た時「ああこの家はほしいかも」と思ったのが始まりです。

近隣に建つ家の中で一番立派な家になることと期待しております。



両親の看病・疲労・仕事のストレスなどが重なり体調を崩していましたが、家づくりを始めてだいぶ元気が戻ってきました。主人が「あたたかい家に住めば体調もよくなって旅行にも行けるようになるよ」と言ってくれるので、私も早くあたたかい家に住んで元気になればと思います。

遠方のうえ、立地条件も悪く、心配でしたが、会長さんが「そういう所にこそ、メンテナンスフリーのレンガの家を建ててほしい」と仰ったことが心に残っています。現場に行くたびにその言葉を痛感しております。

記念撮影。この写真を現場に掲げて完成まで工事が行われます。



このお施主様のために・・・